

年度 2007 学期 前期	曜日・校時 金 1/金 4	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	日本語 (Advanced Japanese)		
対象年次 1年次	講義形態 演習	教室	
対象学生(クラス等) 留学生	科目分類 留学生用科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 埴田美有紀 / Eメールアドレス: miyut@nagasaki-u.ac.jp / 研究室: 留学生センター二階 / オフィスアワー: 水曜日 3、4 校時 (他の曜日、時間でも可能な場合あり。Eメールでも可能)			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: 今後の大学での勉強に役立つ技能の習得、上達を目的とする。 授業方法: 演習形式。グループ活動あり。 授業到達目標: 時事問題や専門的な内容についての記事を理解するだけでなく、自分の意見が持てるようになる。 自分の意見をまとめてレポートが書けるようになる。グループで話し合って意見をまとめ、発表できるようになる。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 偶数週に新聞などの記事の読解、読解問題、レポートの書き方の学習、レポート作成を行い、翌週に発表のしかたの学習、前の週に扱った記事に関連した発表の準備と発表をします。 第1回 オリエンテーション、短い記事の読解、レポート作成、発表準備、発表 第2回 記事 読解、内容理解チェック、記事についてディスカッション、レポートの書き方、レポート作成 第3回 発表のしかた、グループで発表準備、発表 第4回 記事 読解、内容理解チェック、記事についてディスカッション、レポートの書き方、レポート作成 第5回 発表のしかた、グループで発表準備、発表 第6回 記事 読解、内容理解チェック、記事についてディスカッション、レポートの書き方、レポート作成 第7回 発表のしかた、グループで発表準備、発表 第8回 記事 読解、内容理解チェック、記事についてディスカッション、レポートの書き方、レポート作成 第9回 発表のしかた、グループで発表準備、発表 第10回 記事 読解、内容理解チェック、記事についてディスカッション、レポートの書き方、レポート作成 第11回 発表のしかた、グループで発表準備、発表 第12回 記事 読解、内容理解チェック、記事についてディスカッション、レポートの書き方、レポート作成 第13回 発表のしかた、グループで発表準備、発表 第14回 記事 読解、内容理解チェック、記事についてディスカッション、レポート作成、授業評価			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教材:「留学生のための日本語作文演習(中上級用)-第5版-(初回に配布)、新聞記事など(毎回配布)。 参考図書:「日本語学習者が作文を書くための用例集」宮原彬著、凡人社、1900円+税		
成績評価の方法・基準等	授業への参加度 40%、発表 30%、レポート 30% 2出席:遅刻三回で欠席一回とみなします。		
受講要件(履修条件)	日本語能力試験1級合格相当または日本留学試験(日本語科目)200点得点相当の日本語能力を有する留学生。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			